

ほ(き)んだ(よ)り 3月

太陽の子保育園平成30年3月

まだ、風が冷たく感じる日もありますが、春はそこまで来ています。寒い冬を一生懸命に過ごした花や生き物も、そろそろ顔を出す頃です。ひとまわり大きく育った子どもたちが、これからどんな芽を出し、どんな花を咲かせるか一緒に見守っていきましょう。

まだまだ、インフルエンザも流行しています、手洗いうがい励行してください！

開園から保育園に勤務させて頂き、子どもたちとの思い出がいっぱいです。保護者の方々にはいたらぬ点が多々あったとおもいますが、今年度で退職いたします。ご協力ありがとうございました。

0歳児健康診断
新入園児健康診断
3月7日(水)13:30
保健指導
5歳児トイレ指導
和式トイレの
使い方

2月の感染症
インフルエンザA
.....3名
インフルエンザB
.....43名

もうすぐ1年生。

不安な気持ちに寄り添ってあげてください



卒園まで、残りわずかとなりました。もうすぐ1年生。子どもたちの多くは「小学生になる！」というワクワク感でいっぱいようです。でもなかには、周囲の期待を過剰に受け止めて、気持ち不安定になる子どももいます。なんとなくこれまでと様子がちがうな一と感じたら、ゆっくり話を聞いて、よいなプレッシャーを取りのぞいてあげてください。

子どもに多い耳の病気

急性中耳炎

どんな病気？

中耳に入り込んだ細菌やウイルスによって急性の炎症が起こり、膿がたまる病気です。カゼをひいたときに、鼻やのどの炎症に続いて起こることが多いです。

症状は？

- ズキズキとする激しい耳の痛み
- 発熱
- 耳だれ
- 耳がつまった感じ など

注意点は？

途中で治療をやめると、滲出性中耳炎などに移行することもあります。最後まできちんと治療するのが大事です。



滲出性中耳炎

どんな病気？

鼓膜の奥の中耳腔という部屋に、液体が溜まる病気です。

症状は？

聞こえにくくなることが多いです。ただし、軽度だと気づくのが遅れることも。

- テレビのボリュームを上げたがる
- 呼びかけても返事をしない

などが見られたら注意が必要です。強い痛みや発熱はあまり見られません。

注意点は？

治療が不十分だったり、放置すると入院や手術が必要になることも。長期戦になるケースも多いですが、根気強く通院を続けてください。

毎年増えている花粉症花粉症とは？

花粉が原因で、目や鼻に出るアレルギー症状です。花粉が飛んでいる時期はずっと悩まされます。

症状としては、目のかゆみ、まぶたのはれ、水のような鼻水が止まらない、くしゃみが連続して出るなどですが、個人差があります。花粉症かな？と思ったら、病院で原因となる花粉を調べてもらい、治療の相談をしましょう。

※花粉…スギ、ヒノキ、ブタクサ、ヨモギなど

かぜを甘くみないで

肺炎はいきなりなるのではなく、かぜから気管支炎になり、気管支炎がひどくなると肺炎になることが多いようです。肺炎は熱が38～40℃になり、痰のからんだ激しいせきが出て、顔色も悪く、くたります。脱水症状を起こすこともあります。乳児の場合は呼吸困難になることがあります。おかしいと思ったらすぐ医師の診断を受けましょう。

「ありがとう」は魔法の言葉

「ありがとう」の機会は、日常にたくさん隠れています。たとえば、いつもごはんを作ってくれるおうちの方。いつも仲良くしてくれる友だち。あなたが成長できるようにと教えてくれる部活の先輩。気にかけてくれているご近所さん。他にも、思い浮かぶ顔はありませんか？

「ありがとう」は言ったほうも言われたほうも嬉しくなる魔法の言葉。そして、3月9日は「サンキューの日」。この機会に、普段言えずに心にたくさんたまっている「ありがとう」を伝えてみるのもいいですね。